

2021年(令和3年)10月26日(火曜日)

中 日 新 聞

著書出版を記念

日本酒限定発売

古川・渡辺酒造店社長

飛騨市古川町の老舗酒蔵「渡辺酒造店」が十四日、同社の渡辺久憲社長の著書「日本酒がワインを超える日」の出版を記念した日本酒を限定発売した。渡辺社長は「今年の酒でもっとも気に入った会心のお酒。アジアで支持される味わい」と自信を見せる。

六百五十本限定の特等山田錦(酒米)を使った七百二十ミリリットルの大吟醸米酒と、七百二十ミリリットルと三百ミリリットルでそれぞれ限定三千本の備前雄町(同)を使った特別純米酒の二種類。ラベルは本

の表紙をイメージ。上品な味わいに仕上がり、大吟醸米酒は日本酒では珍しい角瓶が目を引く。

著書でも触れている日本酒の未来像について「日本酒は、味や品質ではワインに匹敵すると思う。これからは、いかに価値を伝えるかが大切」と渡辺社長。記念酒は今後、世界で文化や経済などの発信力が高まる、中国を中心としたアジア圏での需要を意識したという。「本を読みながら飲むと、一層味わい深いと思う」と笑みをこぼした。

いずれも税抜きで、大吟醸米酒が七千円、特別純米酒は七百二十ミリリットル千五百



出版記念酒を前に「会心の酒」と話す渡辺社長＝飛騨市古川町で

円、三百ミリリットル六百二十五円。◎渡辺酒造店110577(73)2347
(吉本章紀)